



# 練馬区体育協会 ニュース

加盟 (財) 東京都体育協会

創立 昭和24年10月(1949)

第 45号

発行 平成元年 5月20日



開会挨拶の下田教育長

## 第八回練馬区少年少女 スポーツ・フェスティバル

新緑のグラウンドに

集う少年少女

三、〇〇〇余名



日時 四月二十九日(日)  
 場所 中大グラウンド跡地運動場  
 主催 練馬区教育委員会  
 協賛 練馬区体育協会  
 協力 練馬区スポーツ少年団本部  
 日本ボイスカウト東京  
 連盟練馬地区協議会  
 ガールスカウト東京連盟  
 東京都支部練馬地区

練馬区小学校PTA連合協  
 議会  
 平成元年みどりの祝日にふさわし  
 く、好天にめぐまれ、午前九時本  
 間スポーツ本部員の司会で三〇〇〇  
 人の各スポーツ団体の少年少女の  
 堂々の入場。そして区旗、体協旗  
 スポ少旗の掲揚があり、大会会長  
 下田迪雄教育長の力強い開会の挨拶  
 が行われた。

奥山体育協会会長、奥田スポーツ少年団本部長の挨拶につづいて、来賓として岩波練馬区長より祝辞をいただきました。

加藤宗助大会委員より、大勢の来賓の紹介の後、吉沢福三大会委員より種目内容の説明が行われた。大塚体育指導員の指揮で、全員によるラジオ体操が整然と行われた。定刻九時四十五分に午前の部の種目が開始された。ホームラン、ケン五、ジャンボ輪投げ、竹馬、綱引き、一発ゲート寄せ、五〇米走、一〇〇米走、ミニサッカー、団体なわとび予選と順調に進行、十二

奥田スポーツ少年団本部長挨拶



時総合司会、梶大会委員により午前の部終了、昼休み、アトラクションとして、開進第四中学校フラスバンド演奏があり大きな拍手があった。一三時午後の部種目開始、午前の種目の他、リレー競走、せんべい食い競走、障害物(アメ食い)競走、団体なわとび決勝と少年少女の笑顔と共に十五時、野口嘉郎大会副委員長の閉会宣言により無事盛會裡に終了しました。本大会運営にあたり御協力をいただきました各団体の役員の皆様、社会体育課職員の皆様本当にご苦労様でした。(天野文男)

●ポイント  
 ・ホームランコーナーは少年野球の子供と他の種目の子供達で大騒い!! 巷の声!! 打席だけでも、女子用を設置してほしい!!  
 ・走る、跳ぶ、打つ、各コーナーはフル回転!! でも、参加者の中から「もっと新しいコーナー」を考えてほしいとの声もあった。問題は運営予算だ!!  
 ・年に一度、全スポーツ種目の子供達が集るフェスティバル。企画に於ても、運営に於ても、この大勢の子供達の夢を満すことは本当に難しいことです。

天候を心配をしながら、早朝の五時三〇分から準備に入った。体育課職員。全コーナーの設営に従事した、各競技団体の役員、体育指導委員会の皆さん、スポーツ少年団本部委員、三〇〇名の努力と体力あってこそなした事業でした。  
 それぞれが尊厳な一日を奉仕することだけでも大変なことだと思います。八年前にこのイベントを企画し、実施した一人として、年に一度の「スポーツ少年少女の日」として、いつまでも続けていたただけことを願っております。(野口嘉郎)

少年サッカー後期リーグ戦

日時 昭和六十三年十一月五日

平成元年三月十八日

場所 中大ランド跡地運動場

及び区内小学校九校校庭

●一部リーグ

優勝 練馬フットボールクラブ

二位 田柄二サッカークラブ

三位 関町サッカークラブ

●二部リーグ

優勝 橋戸少年サッカークラブ

二位 大泉ジュニアFC

三位 下石小サッカー団

参加チーム 五十六チーム

参加選手 一、七〇〇名

練馬総合病院

理事長 梅内正雄

練馬区旭丘2-41-1 ☎ 972-1001

# 練馬区体育協会・新春懇親会

日時 一月二十八日 午後六時  
 場所 豊島園「ボツボ」  
 平成元年新春懇親合せ会が、来賓、役員、会員など百八十余名が出席盛大に開催された。  
 天野理事長司会ではじまり、野口副会長閉会の言葉、そして奥山



奥山則男会長 新春の挨拶

頑張っているのが練馬体協であり、社団法人設立基金三千万円を作る為には、並々ならぬ努力でした。これを達成し、社団法人を設立し、社会体育を振興し、区民の付託にこたえるため心の輪をつなぎ合って行きたい」と挨拶があり、つづいて岩波区長、椎名区議会議員、下田教育長からそれぞれ力強い挨拶があり、奥山副会長の発声で乾杯。そして各加盟団体の会長から挨拶と抱負があり、大いに盛り上がった。引続き恒例のオクシオン大会が本間副理事長のいせいのいいかけ声で行われて、藤井副理事長の閉会の言葉で九時終了した。

- オクシオン
  - 出品数 一三〇
  - 総売上金
  - ① 十七万五千七百円
  - 懇親会・会費収入
  - ② 九十五万五千五百円
  - ◎総収入 ①+②
  - ◎総支出 七十八万七千五百円
  - ◎利益金 三十四万三千七百円
  - ※ この利益金は、体協法人化基金として金額入金
- オクシオンへの寄附の品物は本年はやや少かったようでした。しかし、第一号が下田教育長のかげ声に始まり、例年通りの大きな盛り上がりを見せた。
- アメリカ製の高級スケートボードや、恒例の世界の切手集が高値を呼び、例年並みの売上げとなった。

## 第十回会長杯争奪 練馬区バレーボール 選手権大会

日時 二月十二日、十九日  
 三月七日、十四日、十九日  
 場所 区立総合体育館  
 ◎一般男子の部  
 優勝 稲高会  
 準優勝 九輪会  
 三位 SVC

◎一般女子の部  
 優勝 春日クラブ  
 準優勝 練馬区役所クラブ  
 三位 すずしろ会

◎家庭婦人の部  
 ・一部  
 優勝 KVC  
 準優勝 NKC  
 三位 IVY  
 三位 泉新

・二部  
 優勝 すみれクラブ  
 準優勝 高松小  
 三位 大東小  
 三位 仲町小(同)

・三部  
 優勝 下石神井小  
 準優勝 緑小(同)  
 三位 SUNクラブ  
 三位 中村クラブ



<b>原接骨院</b> 原 豊 練馬区石神井台6-19-3 フジサンハイム101 ☎ 924-1145・920-7311	<b>厚本接骨院</b> 原 士雄 練馬区大泉町3-8-12 ☎ 921-3355	<b>巣鴨信用金庫平和台早宮支店</b> 中 台 英 樹 練馬区早宮2-17-37 ☎ 933-7711
--	--	---

# 第四十一回区民体育大会

## ライフル射撃競技会

日時 十月十日、十六日、  
十一月三日、十一月二十七日

場所 総合体育館、朝霞ライフル  
射撃場、千葉ライフル射撃場

- エアライフル伏射六〇発競技  
(六〇〇点)  
一位 今吉 敏博 五九二点  
二位 山田香太郎 五八三点  
三位 苑田 文明 五五九点
- エアピストル四〇発競技  
(四〇〇点)  
一位 大友 英男 三六二点  
二位 佐藤幸次郎 三一〇点  
三位 久保 数倫 三一〇点
- ハンドライフル四〇発競技  
(四〇〇点)  
一位 大友 英男 三六二点  
二位 佐藤幸次郎 三四〇点  
三位 今吉 恵子 二九一点
- エアライフル立射四〇発競技  
(四〇〇点)  
一位 山崎 英男 三五一二点  
二位 川崎 啓之 三四二点  
三位 橋本 俊明 三四一点
- \*級位の部  
一位 佐久間 勉 三三九点  
二位 須藤 邦彦 三三五点
- エアライフル立射四〇発競技  
(四〇〇点)  
一位 木村 和男 三七六二点

- 二位 早川 守 三五二点  
三位 松井 健司 三三七点

## ライシボア伏射六〇発競技 (六〇〇点)

- 一位 香西 俊輔 五八四二点  
二位 大浦 公彦 五八一一点  
三位 竹田 健司 五七八八点
- フリースモールボア  
三姿勢六〇発競技(六〇〇点)  
\*級位の部  
一位 木村 和男 五六六二点  
二位 山崎 英男 五四八二点  
三位 今吉 敏博 五二四二点
- \*級位の部  
一位 中山 謙二 五三二四点  
二位 竹内 行英 四九九九点  
三位 溝部 政司 四六七七点
- スタンダードスモールボア  
伏射六〇発競技(六〇〇点)  
一位 戸田 武夫 五四五二点  
二位 山田香太郎 五二九二点  
三位 山口 実 四八七二点

## 馬術競技会

- 日時 平成元年一月十五日
- 場所 埼玉県入間郡三芳町  
日本乗馬倶楽部
- 参加人員 役員選手 八十四名  
参加頭数 二〇頭
- 第一競技、部班競技(速足班)  
優勝 角田 紀子 四九二点  
二位 市川 俊子 四六六二点  
三位 志澤 亜子 四〇〇二点

- 部班競技(駆足班)  
優勝 園田 洋子 五八二点  
二位 茂木 玲子 四九二点  
三位 水野 康夫 四五二点
- 第二競技 第二級馬場馬術競技  
優勝 秋山 直美 二八〇二点  
二位 佐田 英子 二六二二点  
三位 秋山 直美 二五七二点
- 第三級馬場馬術競技  
優勝 石川 欣正 三五二二点  
二位 佐田 英子 二五五二点  
三位 福井美保子 乘榴
- 第四競技 ジム・カーナー  
優勝 角田 紀子 六五秒七  
二位 北浦 幹也 六八秒六  
三位 徳安 弘明 六四秒九
- 第五競技 ジムカーナー  
グランプリ  
優勝 茂木 克二 六七秒二  
二位 竹内 昭夫 六七秒四  
三位 溝川百合子 六一秒七
- 第六競技 小障害飛越競技  
優勝 江口 昌也 五七秒二  
二位 小谷 彰男 五三秒七  
三位 竹内 礼子 五二秒七



ロードレース大会

<p>太陽ステンレススプリング株式会社 梅原 陽三郎 練馬区三原台 1-15-17 ☎ 922-4111 (代)</p>	<p>西村スポーツ 西村 和文 墨田区立川 3-6-4 ☎ 635-5388</p>	<p>後藤接骨院 後藤 克惺 練馬区立野町 10-32 ☎ 928-5522 929-7329</p>
--	--	---

ロードレース競技会

<p>日時 一月二十九日 九時 場所 光が丘公園内周回コース 参加選手 三五〇名</p> <p>●中学女子一年三キロメートル 一位 佐藤 彩 大泉西中 十二分〇〇秒 二位 中西絵里香 光が丘四中 十二分十一秒 三位 田中 涼子 大泉学園中 十二分十八秒</p> <p>●中学女子二・三年三キロメートル 一位 能登屋千春 光が丘一中 十二分三十八秒 二位 江川 祐佳 光が丘一中 十三分一〇秒 三位 佐藤かおり 大泉中 十三分十六秒</p> <p>●高校女子 三キロメートル 一位 田村由紀子 大泉高校 十二分二十九秒 二位 宮崎 恵美 大泉高校 十二分五十八秒 三位 佐藤洋子 石神井ろう学校 十三分十七秒</p> <p>●一般女子四〇才以上 三Km 一位 大野キヌ子 光が丘OS 十三分〇五秒 二位 平川みや子 十五分〇一秒 三位 中村 草子 十五分〇一秒</p> <p>●一般女子三〇才未満 三Km 一位 竹村輝子 石神井ろう学校 十三分二十五秒 二位 岡部 美穂 日本女子大学 十三分三十四秒 三位 富沢千鶴 石神井ろう学校 十三分三十四秒</p>	<p>●一般女子三〇才代 三Km 十五分十三秒 一位 吉住 祐子 十三分十一秒 二位 酒井か代子 練馬オリエン 十三分十一秒 テリシゲクラブ 十四分〇四秒 三位 中野茂子 十六分四十二秒</p> <p>●中学一年男子 三Km 一位 萩原 条士 練馬中 十三分三十八秒 二位 御供 謙之 開進三中 十四分四十六秒 三位 田代公太郎 開進三中 十四分四十九秒</p> <p>●中学男子二・三年三Km 一位 小沢希久雄 大泉西中 九分五十一秒 二位 石田 元紀 石神井西中 十分〇六秒 三位 小野寺康文 田柄中 十分二十七秒</p> <p>●高校男子 五Km 一位 加藤 悦雄 大泉高校 十六分十五秒 二位 宮田 毅 早稲田高等学院 十六分二十三秒 三位 三船 健 早稲田高等学院 十六分四十七秒</p> <p>●一般男子三〇才未満 一位 磯辺隆之 石神井ろう学校 十六分四十一秒 二位 佐藤 和光 練馬消防署 十七分三十六秒 三位 吉沢 正実 練自走友会 十八分二十四秒</p> <p>●一般男子四〇才代 一位 船田俊明 十七分五十二秒 二位 永澤 義明 練馬消防署 十七分五十六秒 三位 中山恒輔 十八分三十三秒</p>	<p>●一般男子三〇才代 一位 大沼 雅広 練馬陸協 十六分二十三秒 二位 加藤富一 十六分五十一秒 三位 小川 宏華 板橋区役所</p> <p>●一般男子五〇才代 一位 梶原 俊男 十八分十四秒 二位 蘇畑 寛治 練自走友会 十九分十秒 三位 洪 春 光が丘OSクラブ 十九分十一秒</p> <p>●一般男子六〇才以上 一位 佐々木源三 おはよう会 十一分三十三秒 二位 上延良雄 練馬すすしろ会 十二分十一秒 三位 小柳 祐寿 光が丘OS クラブ 十二分三十四秒</p>	<p>日時 十月十六日 場所 東松山百穴・射撃場</p> <p>●トランプ *A組 一位 福元 義美 九十四点 二位 松本治三郎 九十点 三位 福岡 穂 八十九点</p> <p>*B組 一位 長渡 道弘 八十六点 二位 古谷野正二 八十三点 三位 長谷川良朗 七十七点</p> <p>*C組</p>	<p>日時 平成元年二月十二日 場所 木島平スキー場</p> <p>●男子一部 一位 福士 政治 五十二点 二位 根津 松美 五十一點 三位 後藤 光華 四十九点</p> <p>*C組 一位 河野 勝美 七十点 二位 横山 慎司 六十七点 三位 染谷 啓一 六十四点</p> <p>●男子二部 一位 吉田 伸司 四三秒三九 二位 秋保 昭弘 四四秒三六 三位 大橋 充 四八秒五五</p>
---	---	---	---	--

<p>牧 内 接 骨 院 牧 田 与 吉 練馬区北町1-1-18 ☎ 931-1050</p>	<p>並木接骨院 並木幸造 練馬区東大泉4-29-35 ☎ 978-2737</p>	<p>熊澤接骨院 熊澤平一郎 練馬区富士見台1-19-17 ☎ 998-2218</p>
---	--	--



●男子三部	一位 高木 博通	四四秒四八
二位 広沢 卓二	四六秒九〇	
三位 藤江 正	五〇秒七三	
●男子四部	一位 久田 秀雄	四九秒七八
二位 篠山 功	五一秒一一	
三位 横山 利雄	六七秒二二	
●男子五部	一位 川井 昭二	五七秒五九
二位 藤沢 秀樹	五七秒九三	
三位 山本 昭	五九秒六五	
●女子一部	一位 竹村 菜子	五二秒一二
二位 里村麻紀子	五六秒六二	
三位 富川 匡子	五六秒九八	
●女子二部	一位 吉田 和乃	四九秒五〇
二位 高見沢尚代	五一秒三一	
三位 山口 慶子	五二秒五九	
●女子三部	一位 山田 弘子	五六秒一四

二位 坂田 京子	六六秒八三	
三位 田中 浩子	八五秒九四	
●女子四部	一位 宇賀治展子	五九秒九二
二位 橋本 栄子	七四秒七四	
三位 森川 璋子	八〇秒五八	
●女子五部	一位 末吉 公子	五八秒九三
二位 笹 花子	七五秒二四	
三位 鈴木恵美子	七七秒三〇	

日時 平成元年二月二十六日  
場所 東伏見アイスアリーナ

●スピード一部	*少年A 一〇〇米	一位 小池秀明 二二、八(大会新)	
二位 森川 孝夫	三〇、〇		
三位 桜井 久恵	三七、〇		
*少年B 一〇〇米	一位 根本益太郎 二二、四(大会新)		
二位 赤堀こず恵	二四、五		
三位 小池 芳佳	二五、〇		
*一般 一〇〇米	一位 尾形 重勝	二六、八	
二位 桜井 満	二七、六		
三位 田中 霧世	三二、六		
●スピード二部	*少年A 三〇〇米	一位 高橋 永充	一一〇、五
二位 鐘ヶ江信幸	一一六、〇		
三位 西井 一輝	一二六、九		
*少年B 五〇〇米	一位 桜井 貴浩	一二九、六	
二位 高橋 正和	一三九、〇		
三位 渡辺 郁夫	一四〇、九		



<b>塚田接骨院</b> 塚田 久三 練馬区石神井町3-27-7 ☎ 996-0397	<b>住友海上火災保険株式会社代理店</b> 漆原 和雄 練馬区平和台4-15-1 ☎ 933-5975	<b>市毛接骨院</b> 市毛 富士穂 練馬区関町1-6 ☎ 928-0346
--	---	--

三平 成元 年度 定期 総会

日時 四月六日(木) 午後七時  
場所 練馬区役所・防災会議室

規定に基づく定足数の確認、奥山会長より開会の挨拶、冒頭に去る三月四日急逝されました常任理事・スキー協会会長寺崎 武氏の三十五日に当り、全員一分間の黙禱を捧げお悼み申し上げました。引き続き会長より昭和六十三年度に対する感謝と今後の協力と法人化達成への力強い挨拶が行われた。

**報告事項**  
一、加藤社会体育課長より社会体育課職員異動と社会体育施設の計画と現状について説明があった。

二、星体育係長より昭和六十三年度区民体育大会が全競技の終了に対し感謝のことがあった。  
三、法人化の推進状況について天野理事長より、東京都との交渉過程の報告が行われた。  
野口副会長より法人化基金の最終報告が行われた。

◎積立集計  
一、五六〇万円  
二、管理金融機関・共栄信用金庫 三〇〇万円  
◎奥山副会長(最終不足額) 一四〇万円

右の金額の集計は、三月三十一日完了の報告が行われた。  
五、城北五区連絡協議会について三月十三日、豊島区勤労福祉会

館で開催された内容が報告された。  
野口委員長、任期満了に辞任、常任顧問に就任  
新委員長に前田豊島区協、理事長に新任

**協議事項**  
1. 事業計画について 承認  
2. 予算案について 承認  
3. 創立40周年記念事業について 財務委員会報告 松井副理事長 式典委員会報告 本間副理事長 記念誌委員会報告 藤井副理事長 各委員会の次開催は、六月の幹部研修会で行う。

4. 役員改選について 天野理事長 法人化申請の推移から、社団法人認可までの期間も三ヶ月とと思われるため、現執行部の留任が提案され、全会一致で承認された。  
5. 東京都体育協会表彰について 個人 天野文男理事長 承認  
6. 東京都民大会について 星体育係長より説明 承認  
7. その他  
●区民表彰について 剣道連盟 二田武彦会長  
8. 閉会挨拶 奥田副会長

◎平成元年度予算内容  
収入 二一、八六六、〇〇〇円  
支出 二一、八六六、〇〇〇円  
内、40周年記念事業費 三、〇〇〇、〇〇〇円

第十一回練馬区バドミントン・オープン選手権大会

日時 三月二十一日  
場所 総合体育館

主催 練馬区バドミントン協会  
共催 練馬区体育協会  
後援 練馬区教育委員会  
協賛 ヨネックス株式会社  
○男子一部

優勝 正田、小枝 練馬クワイヤー  
二位 宮本、永田 ス・一般  
三位 佐藤、砂岡(実) 足立バドミントンクラブ  
三位 小林、後藤 春日久、都庁  
○男子二部

優勝 大本、小宮 国立マックス  
二位 安藤、奥出 一般  
三位 田中、村田 埼玉富士見高校  
三位 安藤、長谷川 一般  
○女子一部

優勝 平尾、小林 こぼちゃんず  
二位 前田、佐藤 B.K.G.  
三位 西野、渡辺 練馬B.K.G.  
三位 合田、今野 エーデルワイス・一般  
○女子二部

優勝 岡田、増田 ファースト  
二位 菊地、佐藤 リア  
三位 大塚、高橋 三摩ロビンス  
三位 石田、真鍋 たんぼぼ

◎参加人員 四〇六名  
練馬区スキー選手権大会  
日時 四月九日(日)

場所 長野県菅平大松山スキー場  
主催 練馬区スキー協会  
共催 練馬区体育協会

参加選手 五〇名  
○男子一部(大回転競技)  
一位 田中 航太 五三秒〇一  
二位 渡辺 貢 五四秒〇一  
三位 豊道 秀肇 五五秒〇四  
○男子二部( )  
一位 小林 康行 五四秒二三  
二位 伊藤 巖 六〇秒五五  
三位 羽場 能人 六一秒〇三  
○男子三部( )  
一位 広沢 卓二 五五秒二六  
二位 丸山 英俊 五九秒四四  
三位 室越 正光 六〇秒三七

第三回城北五区バドミントン競技大会  
日時 四月三十日(日)  
場所 練馬区立総合体育館  
主催 城北五区バドミントン協議会  
主管 練馬区バドミントン協会  
後援 練馬区教育委員会 練馬区体育協会  
城北五区体育協会連絡協議会  
協賛 学研フライングシャトルセンター  
ヨネックス株式会社

優勝 練馬区  
二位 北区  
三位 板橋区  
四位 豊島区  
五位 荒川区  
○最優秀選手 練馬区 小林賢治  
○優秀選手 練馬区 高城 徹  
○優秀選手 練馬区 半谷要一  
○ 北区 根岸知子  
○ 板橋区 森江光雄  
○ 豊島区 岩波和枝  
○ 荒川区

<p>浅木接骨院 浅木登美夫 練馬区西大泉 2-16-26 ☎ 923-1686</p>	<p>佐久間接骨院 佐久間和男 練馬区高松 1-9-10 ☎ 999-9830</p>	<p>吉田接骨院 吉田邦治 練馬区桜台 1-44-6 ☎ 991-5788</p>
--	---	---

# 「吳越同舟」、「臥薪嘗胆」

二月末から三月にかけて私は、今秋、杭州で開催する、第三回アジアローラースケート総合選手権大会、準備のため、省、市の運動委員会を訪ねました。

杭州市は上海市より特急列車で三時間、西南に一八〇kmの位置にあります。一週間の滞在中、私のさきやかな中国史の知識の中にあるいくつかの言葉が、この杭州を舞台として生れていることを知りました。即ち、その一つは「吳越同舟」です。

紀元前四九四年の春秋戦国時代、中国は群雄活発で乱れに乱れていた時代でした。この一八〇年後に



寺崎武氏死去

練馬区スキー協会会長寺崎武氏は平成元年三月四日午前三時光が丘病院にて急逝されました。謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈りいたします。享年六十才。寺崎さんは昭和三十年十月十二日練馬区スキー協合理事として練馬

中国・杭州市訪問 — は、有名な「秦の始皇帝が中国統一」を果しています。

今の蘇州を都とした、吳、と杭州を都とした、越、は長い間争いを繰り返してきた歴史が残っています。この吳越の争いから、仲の悪い人同志が、同一の場所や境遇にならび立つことを、後の世の

孫子「呉越同舟」と云う表現を使い、それが今日も尚、使われている語源を知りました。次は「臥薪嘗胆」です。吳の王「夫差」は、父の仇である越王「勾践」を討つべく常に薪の上で臥して身を苦しめた。その後、吳に追われ越王勾践は会稽山に逃れ、再び吳を攻めぬべく熊の胆を

区体育協会常任理事となり以来今日迄三十年有練馬区社会体育の事業に協力し、スキーの普及振興に努め、昭和五十二年十月会長となり、会の発展のため献身の努力をされて参りました。その間練馬区体育協会副理事長を二期四年勤められ、本協会の振興に尽された。その功績は誠に大きいものがあります。残念でなりません。長い間本当に御指導ありがとうございました。安らかにご永眠下さい。

なめては、そのにがきで報復を言えなかったと云う。

吳越の戦いの中に生れた言葉です。長い困難苦辛を表現する代表的な言葉と云えましょう。

その他、この吳越を引用しての語が、日本の歴史の中にも残っています。それは、「天眞空勾践、時非無范蠡」で、越王勾践とその臣范蠡の名前が出て来ています。

鎌倉時代末期(建武の中興)の武将、児島高德が隱岐に流される後醍醐天皇を救出しようとして果せず、院の庄にて桜の木を削って「何時の日か必ず忠臣が出てお助けいたします」の意味で、中国の古い歴史の中から越王とその臣下の名に置きかえて、書きしるした文章でした。

私自身、この言葉の語源について多少の知識はあったもの、この杭州市訪問によって、この言葉の意味と時代、そして「太平記」に記されていたと云われる名文を、あらためて理解することが出来たのです。

\* \* \*

杭州市は浙江省の省都、人口二四万人、南に钱塘江の大河と市街によりそうように大きく広がる西湖、を持つ美しい水と花の都です。白樂天の詩にも多くうたわれ、「上に天園があれば、下に蘇州、杭州あり」

とその美譽は賞賛されており、又、北京から杭州をつなぐ大運河の終点でもあり、杭州から蘇州までの一夜の船旅も一興と云えましょう。

五十年前の日本による中国侵略の歴史の中で「杭州湾敵前上陸」の言葉が我々の脳裏に残っています。しかし、現在はその先鋒を討めた坂本師団の関係者の手により、杭州市と岐阜市が姉妹都市となり、文化・体育・商業の面での交流が行われていることを知り、心がなごむことが出来ました。

朝夕の西湖の美しさは、水墨画そのもので、ホテルの窓から毎日見つけましたが、その日の天候により、時間によって変化が見られました。

一方、钱塘江の北岸に立つ、六和塔からの展望は又は、素晴らしいものでした。ここに架る钱塘江大橋は全長一四三三米の二段橋で上が一般橋、下が鉄道橋に区分されている中国ではめずらしい橋です。そしてもう一つの奇景は、既に日本でもTVによって紹介されている、钱塘江があります。

杭州湾河口がラッパ状のため、満潮時の海水が逆流して、河流とぶつかり、2、3mの波しぶきをあげながら時速25kmのスピードで河をさかのぼる海水流は見事なものだそうです。今年、また五月と十月、二度に

わたって杭州市を訪問しなければなりません。

五月は、杭州から蘇州までの船旅、十月は、钱塘江見学を考えています。

私は中国の指導にあたって、早十年、足を運ぶこと八回、その度に、大きく、広い、果しない無限を感じています。

年々日本を追い越してゆく、中国のスポーツ界を見る時、中国の恐ろしさも感じています。

さて、我々練馬体協も法人化をめぐってこの十年は、ある意味で「臥薪嘗胆」の年月であったと云えましょう。色々批判を受けました。非難も云われました。しかし、体協の総意で決定したものであり、胸を張ってその先頭に立って参りました。この、法人化、がいかに重要であったかは、近い将来理解されることとしよう。又、中国の歴史が示すように、年月と時間が評価をしてくれることとしよう。

(野口嘉郎)

発行 練馬区体育協会  
代表 奥山 則男  
編集 野口 嘉郎  
天野 文男  
印刷 工業社